

## アートを活用したまちづくり 推進団体の皆さん

～令和6年1月23日（火）訪問～ 【別府市】



温泉地として有名な別府市ですが、様々な芸術イベントやアートスポットの多い「芸術のまち」としても知られています。この活動は、多くの団体やボランティアの方々による熱心な活動に支えられています。

懇談では、芸術関連イベントの企画・運営や地域情報の発信、商品開発等を行う「NPO法人 BEPPU PROJECT」から、「アートを活用して地域の課題解決を図るとともに新たな可能性を作る」という約20年にわたる取組について、また、地域とアーティストのつなぎ手として入居相談等を実施している別府市創造交流発信拠点「トランジット」からは、設置に至る経緯や将来展望等についてお聞きしました。

また、秋田県から移住したアーティストやイベント等の運営ボランティアの方々からは、活動のきっかけや内容等についてお伺いしました。

懇談後は、トランジット内の展示室や、移住したアーティストの住居兼アトリエとして活用されている「清島アパート」にて、作品の制作現場を拝見しました。

皆さんには、それぞれが持てる力を最大限に発揮して、アートを活用したまちづくりにご尽力いただいていることに感謝申し上げますとともに、大分県の魅力の一つとして、アートを発信する環境づくりに取り組みたいとお伝えしました。



トランジット展示室



清島アパート



### 関連する県の施策

☆事業名：芸術文化活用交流促進事業

事業概要：芸術文化の力で更なる地域活性化を図るため、観光や産業事業者等（民間施設や店舗等）で県内芸術文化団体及びアーティストを活用した事業（イベント）に対して支援

予算額：500万円

〈清島アパート〉

老朽化し取り壊し予定であったアパートを別府現代芸術フェスティバル2009「混浴温泉世界」の会場の一つとして使用したことにはじまり、「若い人が集まることで活気が生まれてほしい」という大家さんのご理解を得て、会期終了後もアーティストの居住・制作の場として運営されています。

毎年、全国から集まった8組程度のアーティストが滞在しながら制作しており、令和4年までに入居したアーティスト・クリエイターは111組にのぼります。アパートを出た後も別府に定住しているアーティストも多く、その後の別府市における定住促進事業につながっています。

